

科目番号	62	科目名	コミュニティ論	
英文科目名	Local Community Studies			
大学・短期大学名	龍谷		大学	
連絡先	滋賀県大津市瀬田大江町横谷1-5			
	TEL :	077-543-7739	FAX :	077-543-7674
担当教員	坂本 清彦		(社会 学部 准教授(特任))	
実施方法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用	
教室名		会場	瀬田	
授業期間	2024 年 9 月 24 日 (火) ~ 2025 年 1 月 14 日 (火) <毎週 火曜日> 4 時限・講時 15 : 15 ~ 16 : 45			
超過時の選考方法				
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)	【備考】 授業で学んだことをもとに1000字程度の学期末レポートとして提出します。概念の理解度、応用力、文章の質などを評価します。	50	%
	平常点 (出席・授業態度)	【備考】 授業の参加(予習やグループワーク内容の記入などの取り組み)姿勢を評価します。	50	%
	その他 ()			%
	自由記載	【授業参加姿勢について】 対面授業のグループメンバーによるグループワークへの取り組み姿勢の評価も加点、減点の要素とします。 【レポートについて】 レポート課題は、授業で学んだ「概念」「用語」「理論」などを自分の経験に適用して理解を深めるものです。また、レポートは文字数そろえて提出すればよいというものではありません。基準に沿って評価しますので、要求を満たせないと低い点になる(さらに平常点が低いと単位を落とす)こともありえます。レポート課題についてその他具体的内容は学期中に説明、指示します。		
別途負担費用	なし		あり()円	
その他特記事項	<p>【授業外学習(自主学習(事前・事後学習を含む))の指示】 学期を通じて文献を読み、リフレクションノートに記入してもらいます。 また、レポートのための文献探索やインタビュー調査も必要となる場合もあります。</p> <p>【履修上の注意・担当者からの一言】 【受講者をお願いしたいこと】 オンライン+対面という変わった形式です。特に対面授業日の日程に注意してください。対面授業日のグループワークに参加できない場合は、追加の課題を課すことがあります。</p> <p>「コミュニティ」という概念は多様で奥行きも深く、理解するのは容易ではありませんが、大学らしい挑戦的な学びを体験したい人にはお勧めです(難しいとはいえ、きちんと授業に参加してくれたら、単位はとれます)。</p> <p>この授業は1回生から4回生まで、そして他学科・他学部・(京都と滋賀の)他大学の学生にも開放していますから、背景、関心、知識、理解度が異なる多様な受講生が集まり、さらにアシスタント、ボランティア、ゲストも加わりま す。 それゆえに、講義を聞いて1人だけで学ぶのではなく、わかったこと、わからないことを共有し、参加者がお互いに 補い合っ、他の受講生や授業参加者との協働を通じ、積極的に学ぶ場(それぞれコミュニティ)としての授業を一 緒に創り上げながら理解を進めます。</p> <p>そして、1つ、皆さんをお願いしたい(いや、約束してほしい)ことがあります。 それは、わからないことや困ったことがあったら、教員、アシスタントやボランティアに相談してください、というこ とです。 この授業は、オンラインを基本としながら対面も取り入れる「実験的」なこともやるので、授業の内容だけでなく、授 業の進め方について不明、不安なことがあれば、「こんなことを訊いていいのかわかるか？」などと思わず質問してくだ さい。 ということで、「わからなかったら質問する」と約束してください。</p> <p>【授業内容の変更について】 講義内容やレポートを含む課題、授業の進め方については、社会情勢やそれを踏まえた大学の方針、学生の理 解度や意向などにより、変更することがあります。 そうしたことが起きる際の基本的な方針として、変更に伴う受講生への不利益を可能な限り避けるため、①受講生 には事前にできるだけ早く変更を知らせる、②受講生の負担を理不尽に増やさない、ことを明確にしておきます。</p>			

【オフィスアワー・教員との連絡方法】

毎週火曜日2講時をオフィスアワーとしています。その他、事前にアポイントメントで相談時間を設けます。
資料配布や授業関連の連絡にはManaba、LINE、メール等を使います。
これらのいずれかから連絡を受け取れるようにしておいてください。
教員のメールアドレスは a17248@mail.ryukoku.ac.jp です。

<講義概要・到達目標>

【講義概要】

**** 重要 ****

この授業はオンラインの回と対面の回が混じるユニークな形式です。
15回のうち10回がオンライン(オンデマンド)の講義形式、5回が対面のグループディスカッション中心の授業になります。
対面の授業日は予め決まっています(下記「講義方法」参照)ので、必ず参加するようスケジュールしてください。

あなたにとって「コミュニティ」とは大事なものですか？それとも厄介なものですか？

この講義では、

- ・「コミュニティ」にまつわるさまざまな概念や理論、コミュニティをめぐる諸課題を学び、
- ・大学周辺の地域「コミュニティ」について調べ、学んだ概念・理論を適用してその理解を深め、
- ・これらの学習を通じて、今の時代に「コミュニティ」なるものがなぜ重要であると同時に厄介な存在であるのかを考察し、
- ・私たちは「コミュニティ」とどう生きていくべきなのかを考えていきます。

授業は指定テキストを読み進めながら展開し、教員の研究テーマで農業と福祉をつなぎコミュニティをつくる「農福連携」についてもとりあげます。

この授業には、教員のほか、アシスタントやボランティア、学内外のゲストが参加し、さまざまな形で受講生の皆さんの理解を促すよう働きかけてくれます。様々な人たちとのかかわりながら、積極的な学びの「コミュニティ」としての授業を自分たちで創り上げるつもりで授業に参加してください。

【到達目標】

- ・コミュニティに関して多様な概念や用語があり、そのうち基礎的なものを理解し、現実社会の理解に応用できる。
- ・なぜ「コミュニティ」が重視されるのか、批判的に理解し、自分の生き方に生かす心構えをもつ
- ・他の受講生やボランティア、自分のコミュニティの人々と協力し働く姿勢とスキルを身につける

【講義方法】

**** 重要 ****

対面の授業日は①10月8日、②10月29日、③11月19日、④12月10日、⑤1月14日です。これらの日には教室で授業に参加し、教科書やオンライン講義の内容についてグループで議論したり、課題をこなしてもらいます。ただし1月14日は、事前に連絡のあった場合のみオンラインでのグループワーク参加を認めます。

対面授業日以外はオンライン講義で火曜日4講時に配信します。講義録画はオンデマンドで視聴できます。

配信終了後おおむね1週間以内に、学んだことを要約してManabaに記入する課題があるほか、クイズ(小テスト)に答えてもらうことがあ

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	9月24日	(オンライン)ガイダンス テキスト「はじめに、第1章コミュニティから幸せを考える」
2	10月1日	(オンライン)テキスト「第2章 日本人の幸福感、第3章 助け合わない日本人」 【キーワード】コミュニティ、概念、幸福感、信頼
3	10月8日	(対面)グループワーク「シニアの地域ボランティア レイカディア大学の活動について」 【キーワード】ボランティア
4	10月15日	(オンライン)テキスト「第4章 ウチ・ソト文化」 【キーワード】ボランティア、ウチとソト
5	10月22日	(オンライン)テキスト「第5章 地域コミュニティ」 【キーワード】地域コミュニティ
6	10月29日	(対面)グループワーク「子供・若者の居場所」 テキスト「第6章 居場所を考える」 【キーワード】子ども、若者、居場所
7	11月5日	(オンライン)テキスト「第7章 インターネットとコミュニティ」 【キーワード】インターネットネットコミュニティ
8	11月12日	(オンライン)テキスト「第8章 当事者とコミュニティ」 【キーワード】子ども、若者、居場所
9	11月19日	(対面)グループワーク「LGBT」 【キーワード】当事者、LGBT
10	11月26日	(オンライン)テキスト「第9章 働くことを考える・社会的包摂」 【キーワード】社会的包摂
11	12月3日	(オンライン)テキスト「第10章 コミュニティとトラブル、排除」 【キーワード】排除、NIMBY

12	12月10日	(対面)グループワーク「社会的包摂と排除するコミュニティ」 【キーワード】排除、NIMBY
13	12月17日	(オンライン)テキスト「第11章 コミュニティづくり」 【キーワード】コミュニティづくり
14	1月7日	(オンライン)農福連携について 【キーワード】農福連携
15	1月14日	(対面+オンライン)グループワーク「コミュニティづくりと農福連携について」 【キーワード】コミュニティづくり、農福連携
<p><教科書・参考書></p> <p>【参考文献】 吉田行郷・里見喜久夫・季刊『コトノネ』編集部 『農福連携が農業と地域をおもしろくする』（株式会社コトノネ生活） (ISBN:9784907140) 指定テキストに加えて、別途関連文献資料を読んでもらうことがあります。</p> <p>【テキスト】 桜井政成 『コミュニティの幸福論—助け合うことの社会学—』（明石書店）(ISBN:9784750350899) 指定テキストは学期を通じて読んでもらいますので、必ず購入してください。</p>		